

寅さん歩 その22

東京2020 聖火リレー-17

静岡県・山梨県・

神奈川県・千葉県



写真右上は東京2020オリンピックの聖火リレーのトーチを掲げる平野寅次郎こと平野武宏です。全国のウォーキング大会を映画「男はつらいよ」の寅さんのように歩き回ったので妻の友人から「平野寅次郎」と命名され、ペンネームとしています。右上の写真は都庁でのトーチ公開時に撮影しました。パラリンピックのトーチも色違いであります。

新型コロナウイルスの感染拡大で計画通りの実施が心配されますが、東京2020大会の聖火は2020年3月26日に福島県をスタートし、移動日を含む121日をかけて47都道府県を回り、7月24日の開会式会場に到着する予定です。

なお、2019年11月30日に完成した「新国立競技場」は2019年12月15日の竣工式を終え、「国立競技場」と呼ばれます。

寅次郎、八柳修之さん作成の「バーチャルウォークで沖縄から新国立競技場へ聖火を運ぶ（仮想コース）」を行い、通過した都道府県の寅次郎のウォークの思い出と映画「男はつらいよ」で寅さんの恋の記録をお話しました。

映画「男はつらいよ」は第1作の公開[1969年(昭和44年)8月27日]から50周年となり、記念して2019年(令和元年)12月27日に第50作「男はつらいよ お帰り寅さん」が公開されました。寅さん役の渥美清さんは1996年(平成8年)に亡くなっていますが、今までの作品の寅さんが技術を駆使して登場します。

「寅さん歩」も映画の50周年を祝って一足早く全国の聖火リレーのコースを紹介しながら、前回のバーチャルウォークで通過しなかった道県での寅次郎のウォークの思い出と寅さんの恋をお話したいと思います。各県名の脇の月日は実際に聖火リレーが行われる月日で、コースはスタートとゴールの予定地です。なお、2019年12月17日聖火リレーの詳細が発表されました。

[静岡県] 2020年6月24日～26日

聖火リレーコースは6月24日 湖西市～静岡市、25日 牧之原市～沼津市、
26日 伊東市～富士宮市です。

静岡県は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー15」をご参照
ください。

聖火は山梨県へ引き継がれます。

〔山梨県〕 2020年6月27日～28日

聖火リレーコースは6月27日 南部町～甲府市、28日 笛吹市～富士吉田市
富士河口湖町も通過します。

寅次郎、1999年（平成11年）10月「第8回富士河口湖紅葉マーチ」に初参加、
2000年の「第9回」では民宿を貸切してF W Aで団体参加、2001年「第10回」、
2002年「第11回」と4回、富士河口湖町に来ています。

第一日目は東コース40kmに挑戦。武田信玄が
戦勝祈願した富士浅間神社から湧水の忍野八海
を回るコースです。山越えには苦勞しましたが、
忍野八海からの富士山は絶景、焼き衣団子の味
も格別でした。寅次郎、57歳（20年前）でした。



二日目も鳴穴氷穴、樹海、西湖、河口湖を回る40kmコースに挑戦。

樹海入口からは知り合いの健脚の女性ウォーカーと
二人旅、昼なお薄暗い樹海内はロープが張ってある
道を歩きます。いたるところにボックスがあり、
その中には「もう一度考え直せ！」と自殺を押し
とどめるピラが置いてあります。地元の人から聞
いた、先日遺体が発見された場所の近くを通る時
は思わず足早になりました。樹海を過ぎると健脚の



彼女に置いていかれました。寅次郎は樹海での用心棒役だったようです。
もみじの色づきは始まった程度でしたが、民宿の食事は食べきれないほどで膨
満胃腸薬のお世話になった思い出の多いウォークでした。

映画の寅さんは1972年12月公開の第10作「男はつらいよ 寅次郎夢枕」で
甲府に現れ、渡世人の悲哀を感じて、再会した舎弟の登に「地道に生きる」

と置手紙をして甲州の紅葉をあとに柴又へ帰っています。

柴又での話は寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-18」をご参照ください。

聖火は神奈川県へ引き継がれます。

〔神奈川県〕 2020年6月29日～7月1日

聖火リレーコースは箱根町～横浜市です。

詳しくはFWAホームページ「YR・四季の道」の「バーチャルで2020東京オリンピック聖火リレーコース 神奈川県を歩こう」をご参照ください。

また、寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ-17」をご参照ください。

聖火は千葉県へ引き継がれます。

〔千葉県〕 2020年7月2日～4日

聖火リレーコースは7月2日 木更津市～山武市、7月3日 銚子市～千葉市、7月4日 浦安市～松戸市です。

寅次郎、2001年2月開催の「第11回南房総フラワーマーチ」で千倉に来ています。第一日目は丸山・和田浦海岸 40kmコースの参加申し込みをして、藤沢から車で久里浜からのフェリーで千倉入りしました。でも40kmコースはすでにスタートしていて、約1時間アンカーを追いかけました。山に上り、山道を歩き、暗いトンネルを出ると眼下に青い海と白い浜が広がりました。山を下り潮風に吹かれながら海岸線をひたすら歩きました。白子漁港や千倉漁業センターでは海の幸が一杯でした。

二日目は白浜・野島崎灯台 40kmコースでスタートすると、すぐに名刹 小松寺がありました。朱塗りの仁王門をくぐると静寂の別世界です。トンネルをいくつか通過しました。参加要領に懐中電灯持参の意味が理解できました。山から下りて房総半島の最南端に突き出た岬の太平洋を望む白亜の野島灯台へ。日本最古の洋式灯台とのこと。TVでよく放映しているお花畑の中を通りました。春の花々が咲き始め、ストックやキンセンカの花摘みが楽しめ



る観光農園は人気スポットです。

自然を感じ、歴史に触れ、花を訪ね、海・山の幸を味わえる大会でした。

この大会は寅次郎が全国大会を歩き始めた1999年に初めて40kmを2日間歩くことに挑戦し、完歩した思い出があります。

千葉県は2002年、佐倉市で開催の「第3回歴史と文化の街・佐倉カルチャーウォーク」にも参加しました。マラソンのメダリスト高橋尚子や有森裕子が走ったジョギングロードを歩きました。

映画の寅さん、1970年(昭和45年)8月公開の第5作「男はつらいよ 望郷編」で浦安の豆腐屋で働きます。

おいちゃんの死に目に駆けつける夢を見た寅さん、旅先から電話をすると、おばちゃんの冗談の「おいちゃんが危篤」を聞き、柴又に駆けつけ、早とちりの葬儀の手配をして大けんかしています。

舎弟の登の情報、「テキヤの親分が死にかけている」で妹さくらに借金をして札幌へ。息子(蒸気機関車の運転手)を探しに小樽へ。地道に暮らす息子に会い「地道な暮らしをしよう」と登と杯を割り柴又へ。

寅さんは額に汗して油まみれの仕事に挑戦するも出来ず、その後は浦安の豆腐屋で働きます。これは豆腐屋の娘節子(長山藍子)が居たため、さくらが訪ねると母娘の豆腐屋で大張り切りの寅さんです。

家を継いでほしいと言われ、有頂天になります。節子がお嫁に行くための勘違いと分かり、妹さくらに「地道な暮らしはやっぱり自分には無理だ」と旅に出ます。旅先で舎弟の登と再会、お互いにまた渡世人の仁義を交わして幕。



第11作「男はつらいよ 寅次郎忘れな草」では結婚して、すし屋のおかみになったリリーを松戸の店に訪ねています。聖火リレー13 北海道一1をご参照ください。

聖火は埼玉県へ引き継がれます。

次回は 東京の博物館めぐり-6

平野 寅次郎 拝